

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年4月3日

平成30年度(2年目)

事業コード	6	事業名	商工会の支援力強化			戦略コード	1	戦略名	育て・挑戦を支える商工会		
担当部名	企業振興部	担当課名	経営支援課	担当課長名	佐々木隆太	施策コード	3	施策名	新たな可能性にチャレンジする創業・新分野進出の推進		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

小規模事業者の減少に歯止めがかからず、商工会員減少による組織弱体化への対策は待ったなしの状態である。

2. 事業のねらい

創業や新分野進出を一層促進し、地域に新たな活力を創出していくため、新たな可能性にチャレンジする創業者・事業者に対し、これまでの取組を更に強化する。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	-	H30		H31		H32
-----	-----	---	-----	--	-----	--	-----

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
14	商工会の支援力強化	インキュベーションマネジャー7名が商工会にて指導にあたっているが、新たな資格取得者を育成するための補助金が獲得できず、増員できていない。	a	c	c	C

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	取組コード					取組コード	取組コード					取組コード	取組コード				
指標名	指標名					指標名	指標名					指標名	指標名				
年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33
目標						目標						目標					
実績						実績						実績					
達成率						達成率						達成率					
達成度						達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 取組評価の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) **a**

〈評価の理由〉

経営指導員に対して計画づくりや支援手法の提案等、創業支援全般をサポートする人材の育成は有効である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 取組評価の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) **c**

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

新たな資格取得者を育成するための補助金が獲得できず、増員できていない。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 取組評価の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) **c**

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

新たな資格取得者を育成するための補助金が獲得できず、増員できていない。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 **C**

インキュベーションマネジャー7名が商工会にて指導にあたっているが、新たな資格取得者を育成するための補助金が獲得できず、増員できていない。

3. 課題

予算段階で県に必要性をアピールし、補助金活用による新たな資格取得者を育成することが必要。

4. 今後の対応方針(改善点)

全商工会への配置に向け、人材育成課と連携し、インキュベーションマネジャーの育成を進める。